

見通しが持てる約束づくり

時間を守る

～規律ある生活をつくる～

ポイント1



「時間を守る」ことは集団生活の基本です。業間や昼休み、清掃などの終了時刻を守り、授業開始のチャイムとともに学習が始められる学級にしましょう。

●時間の見通しを持たせる●

- ・1日の見通し … 1日の予定を掲示し、朝の会で全員に確認させましょう。通常と異なる時程は、見やすい場所に分かりやすく示すことが必要です。
- ・学習の見通し … 1時間の授業の最初に学習の進め方を理解させましょう。活動させる場合は、どのくらいの時間で行うのかを明らかにすることが大切です。

●教師自身が時間を守る●

授業開始のチャイムとともに授業を始め、授業終了のチャイムとともに授業を終えます。授業の挨拶など、学習と学習の区切りを明確にする工夫をしましょう。

●急な変更はできるだけ避ける●

どうしても急に変更しなければならない場合は、全員に周知徹底するようにしましょう。

<小中連携のために…>

教科担任制の中学校での学校生活に適應させるためにも、小学校段階から時間を意識して学習や活動を切り替える習慣を身に付けさせることはとても重要です。

提出物を確実に出す

～自己管理能力を高める～

ポイント2



毎日、宿題のプリントやノート、提出書類などたくさんの提出物があります。それらを子ども自身が忘れず提出できることが自己管理能力を高め、自信にもつながります。

●提出方法の明確化●

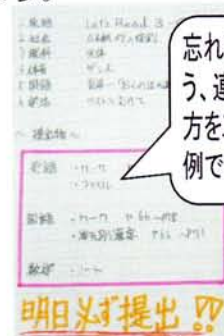
提出物は、「何を」「いつ」「誰が」「どこに」「どのように」提出すればよいのかを明確にしておくことが必要です。教師の机の上に提出物が雑然と散乱するのを防ぎましょう。

●予定や連絡等の記入●

提出物を確実に出させるためには、まず、翌日の予定や持ち物、提出物を連絡帳等にきちんと書かせる指導を継続して行いましょう。提出物の意味やその重要性について理解させたり、もれなく書けているかどうか、連絡帳を見て印を付けたりすることも必要です。また、忘れ物がないように書き方の工夫などを個に応じて支援することも大切です。

●提出方法の例●

「このプリントはここに入れる」というかごを決めておくなど、提出物を入れる箱や袋をあらかじめ用意しておく、各自で整然と提出することができます。何を入れる入れ物なのか大きな文字で書いておけば、さらに分かりやすいでしょう。



忘れ物をしないよう、連絡帳の書き方を工夫している例です。



提出物を入れるかご等を置いておきます。